

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公開番号】特開2008-203547(P2008-203547A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-39766(P2007-39766)

【国際特許分類】

G 02 B 7/04 (2006.01)

G 02 B 7/08 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/04 E

G 02 B 7/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月17日(2010.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

バリアユニットを開閉駆動する第1の駆動機構と、レンズ鏡筒受け部材をレンズ鏡筒から退避した位置と前記レンズ鏡筒を支持する位置とに進退駆動する第2の駆動機構と、前記バリアユニット及び前記レンズ鏡筒受け部材の一方の動作端を検出する第1の検出手段と、該第1の検出手段による検出信号を基に、前記第1の駆動機構と前記第2の駆動機構とを切り換えて動作させる切り換え制御手段と、を備え、

前記第1の駆動機構及び前記第2の駆動機構に、それぞれ前記切り換え動作の際に不感帯となる不感帯部を設けた、ことを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記バリアユニット及び前記レンズ鏡筒受け部材の他方の動作端を検出する第2の検出手段を設けた、ことを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】撮像装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、カメラ等の撮像装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明は、正常な動作を確保することができるとともに、部品点数を削減して小型化および低コスト化を図ることができる撮像装置を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、本発明の撮像装置は、バリアユニットを開閉駆動する第1の駆動機構と、レンズ鏡筒受け部材をレンズ鏡筒から退避した位置と前記レンズ鏡筒を支持する位置とに進退駆動する第2の駆動機構と、前記バリアユニット及び前記レンズ鏡筒受け部材の一方の動作端を検出する第1の検出手段と、該第1の検出手段による検出信号を基に、前記第1の駆動機構と前記第2の駆動機構とを切り換えて動作させる切り換え制御手段と、を備え、前記第1の駆動機構及び前記第2の駆動機構に、それぞれ前記切り換え動作の際に不感帯となる不感帯部を設けた、ことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】